

今、何の病気が流行しているか！



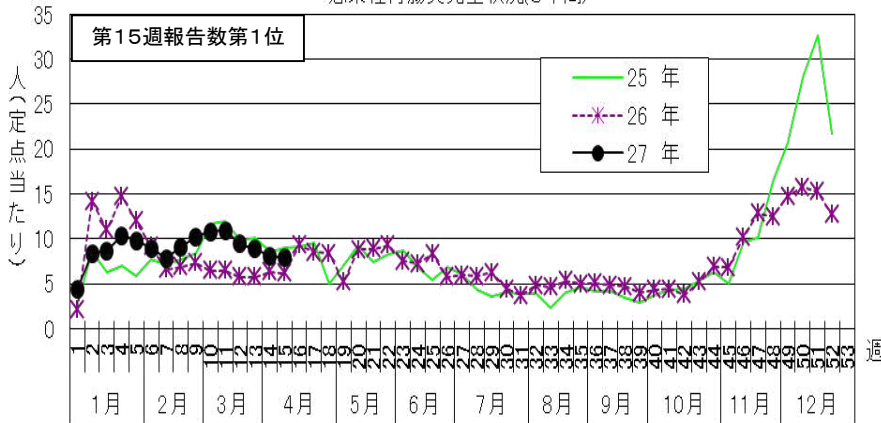
【感染症発生動向調査事業から】

平成27年4月6日（月）～平成27年4月12日（日）〔第15週〕の感染症発生状況

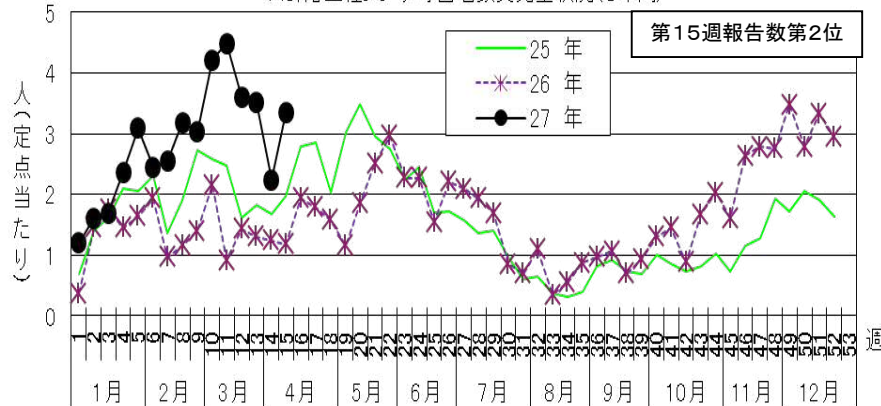
第15週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.84人と前週（8.06人）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.34人と前週（2.24人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.19人と前週（1.31人）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



平成27年度川崎市風しん対策事業のお知らせ

妊婦が「風しん」にかかると、生まれてくる赤ちゃんが、目、耳、心臓などに病気を持つ「先天性風しん症候群」という病気にかかることがあります。2013年～2014年には、風しんの流行に伴って先天性風しん症候群の報告が増加しました。風しんに対する免疫の有無を確認し、免疫が不十分である場合にはワクチン接種を行うことが大切です。

川崎市では、今年度、風しん抗体価の無料検査に加え、予防接種（MRワクチン）費用の一部助成を実施していますので、対象の方はご検討ください。



	風しん抗体検査(平成26年度から一部変更)	予防接種(平成27年度新規)
対象者	川崎市民で、風しんにかかったことがなく、市の事業を利用して風しん含有のワクチン接種(*1)や抗体検査(*2)を受けたことがない方で、次のいずれかに該当する方 (1) 妊娠を希望する女性 (2) 妊婦のパートナー (3) 妊娠を希望する女性のパートナー *1 平成25年度実施の風しん緊急対策事業を利用した方 *2 平成26年度実施の風しん抗体検査を利用した方	本事業を利用して風しん抗体検査を実施した結果、風しん抗体価が十分でなかった方 > 平成26年度実施の風しん抗体検査を利用した方は費用助成の対象外です。 > 予防接種のみの費用助成はできません。 > 妊娠中の方は接種できません。 > 女性の場合、接種後2カ月間は避妊をする必要があります。
自己負担額	無料	3,200円
実施場所	川崎市内協力医療機関(約380医療機関)	

※詳細は川崎市のHPをご覧ください。 <http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000064983.html>